

部門別年齢区分の 改定に向けた見直し案について

平成30年1月21日
日本連盟プログラム委員会



1. 改定に向けた見直し

【長中期計画の行動計画より】

- 今年度、以下の施策に沿って、協議を進めてきた。
- ・プログラムの見直しとして、活動的で自立した青少年の育成のために、各部門のプログラムの見直しを行なう。
 - ・また、部門の区分や教育目標が各発達段階の青少年に整合しているか検証を行なう。

その中で、以下の内容について継続協議と実証を進める。

- 1. B S部門・V S部門一体化を含むプログラム見直し
- 2. 教育部門を次の4部門への移行検討



1. 改定に向けた見直し

1. B S部門・V S部門一体化を含むプログラム見直し

- ・進級課目と技能章を見直し、平成29年度に施行した。
- ・進級の取り組みや新たな技能章に関する情報や、各団の隊運営について、引き続き協議する必要がある。

2. 教育部門を次の4部門への移行検討

- ・各部門のプログラム検討タスクチーム会議を実施。
- ・年代の特性と社会の変化に即したプログラムを検討し、現場で実現可能か、実証を進める必要がある。



1. 改定に向けた見直し

【過去の様々な取り組み】

- ・昭和61年にB V S部門を追加
- ・平成3年にR S部門への女子の参加が、平成7年には全部門へ参加が認められる。
- ・しかし、昭和58年の約33万人をピークに減少し、平成29年3月には3分の1の約10万人までに。

結果として、

- ・女子の参加以降20年の間、見直しがなされなかった。
- **単一部門だけを見直すのではなく、教育部門4部門全ての見直しが必要と考えられる。**



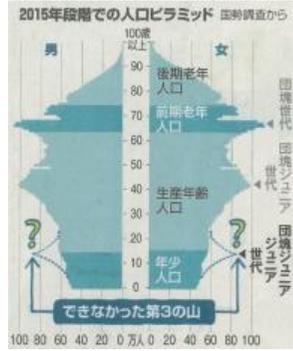
2. 部門別年齢区分の検討

【社会の変化】

- ・ 昭和30年の高度経済成長から安定経済に移るとともに、少子高齢化が進む。
- ・ 社会環境や家庭環境が大きく変化し、教育も多様化する。

結果として、

- ・ 現代の少年たちの精神年齢は、2年ほど早熟の傾向にあると教育関係者から報告あり。



平成29年12月31日 朝日新聞朝刊より抜粋



2. 部門別年齢区分の検討

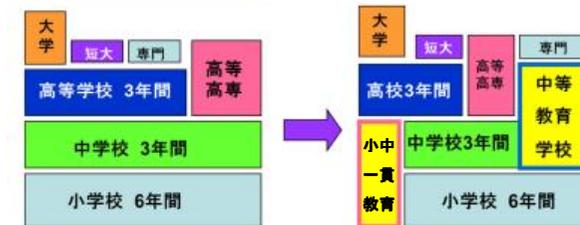
昭和30年代の中等教育前半(中学校)から後半(高等学校)への進学率は

約60パーセント

現在(昭和末期から平成)進学率 97パーセント

私立学校の中高一貫教育

平成11年中等教育学校の設立



2. 部門別年齢区分の検討

加盟登録状況(29年度)

平成29年12月31日現在

部門	スカウト人数	隊数	1隊平均人数
ビーバースカウト部門	8,683人	1,568隊	5.53人
カブスカウト部門	17,774人	1,861隊	9.55人
ボイスカウト部門	16,249人	1,903隊	8.53人
ベンチャースカウト部門	7,383人	1,670隊	4.42人
ローバースカウト部門	8,309人	1,318隊	6.30人



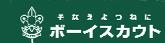
2. 部門別年齢区分の検討

<現行>

学校	未就学	小1	小2	小3	小4	小5	小6	中1	中2	中3	高1	高2	高3	大1	大2	大3	大4
部門		BVS		CS			BS			VS			RS				

<検討案>

学校	未就学	小1	小2	小3	小4	小5	小6	中1	中2	中3	高1	高2	高3	大1	大2	大3	大4
部門	BVS	CS			BS・VS						RS						



3. BVS・CS部門の検討

<検討案>

学校	未就学	小1	小2	小3	小4	小5	小6	中1	中2	中3	高1	高2	高3	大1	大2	大3	大4
部門	BVS	CS				BS・VS						RS					

【BVS部門・CS部門】

- ・ BVS部門を未就学児（5歳）からとしてはどうか。
- ・ 各部門の開始年代が、1～2年程度前倒しとなる。
- ・ 前倒しすることによる、訓育・教育、活動の目標やプログラムの内容について、整合しているかの検証を進めていく。



2. 部門別年齢区分の検討

<上進時の取り組み>

学校	未就学	小1	小2	小3	小4	小5	小6	中1	中2	中3	高1	高2	高3	大1	大2	大3	大4
部門	BVS	CS				BS・VS						RS					

りすの道

1. CSから上進：月の輪→初級スカウト
2. BSから入隊：スカウト→初級スカウト
→初級細目を履修し、ちかいをたて
9月から初級スカウトとして活動



4. BS・VS部門の検討

<検討案>

学校	未就学	小1	小2	小3	小4	小5	小6	中1	中2	中3	高1	高2	高3	大1	大2	大3	大4
部門	BVS	CS				BS・VS						RS					

【BS部門・VS部門】

- ・ 開始年代が1年前倒しとなり、隊の統合も選択できる。
- ・ 新たな進級課程が平成29年より施行し、平成30年4月からは全ての隊が進級課程の移行を開始予定。
- ・ 各隊の人数、団の状況に応じて、よりよい隊運営の形や方法を提示できるよう、協議を進めていく。



4. BS・VS部門の検討

【BS隊、VS隊の現状】

- ・ 平成29年度全国のボーイ隊員数の平均は9人程度、ベンチャー隊の隊員数の平均4人である。
- ・ 統計上の平均値であり、30人を超えるボーイ隊もあれば統計値よりも少人数の隊も存在する。

【隊活動の改善に向けて】

- ・ 少人数の隊では、班制教育には程遠く、スカウトの自治活動は出来ず、指導者が直接指導する事に陥りやすい。
- ・ 班制教育の実施においては、ある程度の隊員数を確保しなければならない。



4. BS・VS部門の検討

【新たな隊のスタイル】

- ・学校教育において、中学・高校の中等教育6年制が普及しつつある昨今、日本のスカウト運動においても、中高一貫の中等教育学校スタイルのボーイ隊が存在しても良いと思慮する。

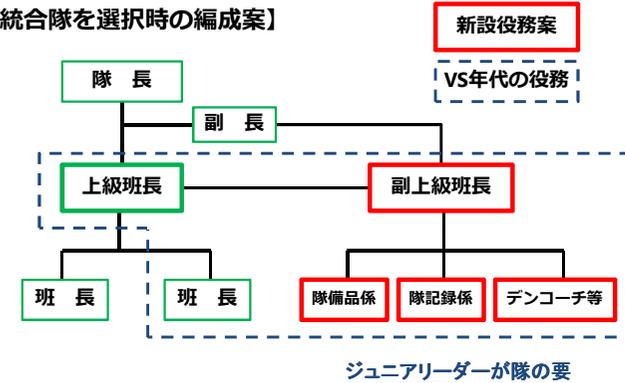
よって、下記の2案を団の実情・規模等により、どちらかを選択できるようにする。

1. BS隊とVS隊を並存する
2. BS隊とVS隊を統合する = 年齢幅の拡大



4. BS・VS部門の検討

【統合隊を選択時の編成案】



4. BS・VS部門の検討

【2つの隊運営の課題】

1. BS隊とVS隊を並存する（班制教育の確立）

- ・スカウト自身による、隊運営の実現
- ・年長スカウトによる、技能や班組織の伝承
- ・年長スカウトによる、リーダーシップの涵養

2. BS隊とVS隊を統合する（進歩制度の確立）

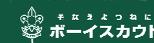
- ・スカウト隊として活動する。
- 初級スカウトから富士スカウトまでの一貫した進歩制度により、個々のスカウトが自己の目標を展望できる。



1. 平成30年度日本連盟主催指導者養成事業

(1) ウッドバッジ実修所

課程	期数	期間	場所	開設県連盟
BVS	第42期	5/3(木) ~ 5/6(日)	木田山野営場 (静岡県浜松市)	静岡県連盟
CS	第167期	5/3(木) ~ 5/6(日)	市立五頭連峰少年自然の家 (新潟県阿賀野市)	新潟連盟
	第168期	10/5(金) ~ 10/8(月)	村宮山中湖キャンプ場 (山梨県南都留郡)	神奈川連盟
BS	第195期	5/3(木) ~ 5/6(日)	那須野営場 (栃木県那須塩原市)	埼玉連盟
	第196期	9/21(金) ~ 9/24(月)	日向野営場 (千葉県山武市)	東京連盟
	第197期	10/5(金) ~ 10/8(月)	新城・吉川野営場 (愛知県新城市)	愛知連盟
VS	第30期	11/22(木) ~ 11/25(日)	脇山野営場 (福岡県福岡市)	福岡県連盟



1. 平成30年度日本連盟主催指導者養成事業 (2) 団委員実修所

期数	期間	場所	開設県連盟
第22期	11/23(金)～11/25(日)	川崎市青少年の家 (神奈川県川崎市)	神奈川連盟
第23期	11/23(金)～11/25(日)	新城・吉川野営場 (愛知県新城市)	愛知連盟
第24期	11/23(金)～11/25(日)	岡山県青少年センター 関谷学校 (岡山県備前市)	岡山連盟
第25期	11/23(金)～11/25(日)	鹿児島県連盟野営場 (鹿児島県薩摩川内市)	鹿児島連盟



2. 長中期計画に関する検討事項

(1) 隊指導者訓練体系の改訂

1. 導入訓練課程（ボーイスカウト講習会）

平成30年度は、BS・VS課程の進歩制度の改定に即した内容で改訂を行う。

指導者養成委員会で協議したうえで、セッション内容を含めた全面的な改定も視野に入れて検討し、平成31年度からの施行を目指す。

2. 導入訓練修了から隊指導者基礎訓練への参加

ボーイスカウト指導者としての基本的な知識を身に付けることを目的として、平成30年度からウッドバッジ研修所スカウトコースの「課題研究」を改訂する。**(資料：7)**

また、「課題研修」への取り組み易さを考慮して、「課題まとめシート」を提供することとし、課程別研修の「課題研修」においても同様の改定を行う。



5. 第17回日本スカウトジャンボリー



17th
NIPPON SCOUT
JAMBOREE



参加予定申し込み状況について

国内参加者 計11,970人(1県連盟40人の見込み人数を含む)

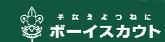
参加区分	スカウト	指導者	計	依頼人数	差異
参加隊	9,009人	1,677人	10,686人	10,738人	-52人
大会運営スタッフ		1,162人	1,162人	1,888人	-726人
派遣団本部スタッフ		122人	122人		
計	9,009人	2,961人	11,970人		

参加隊の形式

- 自団の隊のまま参加79区画2,570人(24.1%)
- 派遣隊方式で参加 226区画8,116人(75.9%)

男女の割合

- 男子スカウト6,903人(57.7%) 女子スカウト2,106人(17.6%)
- 男性指導者 2,318人(19.4%) 女性指導者 643人(5.4%)



17th NIPPON SCOUT JAMBOREE

参加予定申し込み状況について

外国参加者 8か国・地域から406人
オーストラリア、香港、インド、マカオ、マレーシア、ネパール、パキスタン、アメリカ

参加区分	スカウト	指導者	計	備考
参加隊	270人	61人	331人	
大会運営スタッフ		75人	75人	オーストラリア、香港、インド、ネパール、パキスタン
派遣団本部スタッフ		0人	0人	
計	270人	136人	406人	

ボイスカウト

17th NIPPON SCOUT JAMBOREE

参加予定申し込み状況について

参加隊の参加割合

区分	加盟登録数	参加団・人数	備考
回数	2,102団	1,412団 (67.2%)	自団の隊のまま参加212団 (10.1%) 派遣隊方式で参加1,200団 (57.1%)
ボーイスカウト	17,488人	7,095人 (40.5%)	
ベンチャースカウト	7,817人	1,914人 (24.5%)	
スカウト計	25,305人	9,009人 (35.4%)	15NJ: 13,188人 (34.1%) 16NJ: 9,247人 (28.3%)

- 1ご隊（区画）の平均人数36.1人（スカウト30.4人+指導者5.7人）
- 40人を超える隊 19ご隊（41～48人）他、50人を超えて組み合わせ等が不明3ご隊
- 自団の隊のまま参加する方式で指導者がいない団 3ご隊
- 女性指導者が不足している隊 15ご隊
- 指導者が不足している隊 5ご隊

ボイスカウト

17th NIPPON SCOUT JAMBOREE

参加予定申し込み状況について

大会運営スタッフ

部署・区分	希望人数	必要人数	差異	充足率
大会本部各部・大会役員	604人	1,483人	-879人	40.7%
サブキャンプ本部	558人	350人	208人	159.4%
計	1,162人	1,833人	717人	63.4%

ボイスカウト

17th NIPPON SCOUT JAMBOREE

参加予定申し込み人数による会場利用計画の変更

サブキャンプの人数割合

サブキャンプ	参加隊当初人数	参加隊予定人数	差異
アドベンチャー	4,800人/120区画	4,007人/116区画	-793人/ -4区画
ブレバリー	800人/ 20区画	357人/ 11区画	-443人/ -9区画
チャレンジ	2,400人/ 60区画	2,671人/ 73区画	+271人/+13区画
ディスカバリー	1,600人/ 40区画	2,367人/ 60区画	+767人/+20区画
エンデバー	800人/ 20区画	685人/ 20区画	-115人/±0区画
ヒューチャー	800人/ 20区画	599人/ 16区画	-201人/ -4区画
計	11,200人/280区画	10,686人/296区画	-514人/+16区画

ボイスカウト

17th NIPPON SCOUT JAMBOREE



参加予定申し込み人数による会場利用計画の変更

参加隊のキャンプ地面積

区分	区画数	備考
参加隊(参加予定申し込みによる希望数)	296区画	1区画平均36.3人
県連盟派遣団本部スタッフ 大会運営スタッフ	34区画	1区画あたり60人(約2,040人分)
計	330区画	当初計画に対して26区画不足
当初計画	304区画	約750㎡(標準25m×30m)
	↓	
全体を縮小した見直し	340区画	約625㎡(標準25m×25m)

ボイススカウト

17th NIPPON SCOUT JAMBOREE



参加確定申し込みについて

参加確定申込期日

- 団から県連盟への申込 平成30年4月10日
- 県連盟から日本連盟への申込 平成30年4月20日
※4月21日(土)に実行委員会を開催予定

参加費の入金

- 1人あたり3万円(参加費残金)※確定申し込みから新規に申し込む場合には4万円

参加申込書等

- 参加隊
参加確定申込書(人数内訳・隊長情報・参加者名簿)を団・県連盟等を通じて提出
- 大会運営スタッフ・派遣団本部スタッフ
ウェブにて必要事項を入力のうえ、出力した用紙を団・県連盟等を通じて提出

ボイススカウト

17th NIPPON SCOUT JAMBOREE



今後の事前調査・予約等

内容	対象	実施・締め切り
第1次輸送調査	県連盟派遣団	実施中・1月末締め切り
参加確定申し込み	参加隊・大会運営スタッフ・県連盟派遣団	2月実施・4/20日本連盟締め切り
第2次輸送調査	県連盟派遣団	3月実施・4月下旬締め切り
見学者事前予約	見学希望者(※宿泊斡旋は無し)	ウェブでの事前予約
スカウト通信員募集	参加隊	4月以降実施・6月
派遣団提供プログラム募集	県連盟派遣団	
スカウトパフォーマンス募集	サブキャンプ(ブロック)	
代表スカウト・旗手等推薦	サブキャンプ(ブロック)・県連盟	
レンタル品事前予約(斡旋)	SC本部・県連盟派遣団本部	3月実施・6月
野営資材事前予約(斡旋)	SC本部・県連盟派遣団本部・参加隊	3月実施・6月
無洗米事前予約(斡旋)	参加隊	
灯火用燃料事前予約(斡旋)	SC本部・県連盟派遣団本部・参加隊	

ボイススカウト

17th NIPPON SCOUT JAMBOREE



派遣隊・参加隊について

1. ジャンボリーは希望するすべてのスカウトが参加できる。
2. ジャンボリー期間を過ごせる健康と技能を身に付ける。
→夏の時期に行う大会です。過度な訓練は控える。
できるだけ所属している団で対応する。
3. 17NSJは、交流と楽しさを味わえる大会である。
→事前準備では、メンバーシップが発揮できるように
スカウトの自治を尊重して役務を決める。

ボイススカウト